

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 12 月 31 日

設置・運営主体	株式会社日本保育サービス		
設置主体	株式会社日本保育サービス		
経営主体	株式会社日本保育サービス		
事業所名 (施設名)	アスクわかば保育園	種別	保育所
所在地	〒 350-0124 埼玉県坂戸市千代田 3-21-23 ヴィラ・ボンセジュール若葉 1階		
電 話	049-280-5777		
FAX	049-280-5778		
Email	gsp31691@nifty.com		
URL	http://www.nihonhoiku.co.jp/		
施設長氏名	藤松 智子		
調査対応担当者	藤松 智子 (所属、職名：園長)		
利用定員	60 名	開設年	昭和 22 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>①セーフティ(安全)&セキュリティ(安心)を第一に ②お子様にとっていつまでも思い出に残る保育を ③本当に求められる施設であること ④職員が楽しく働けること</p> <p>○保育基本方針 ・遊びや生活の中で子どもたちの感受性や好奇心を伸ばし、「自ら伸びようとする力」を育てることを目指す。 ・四季や自然の力を体感させ、視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚の「五感で感じる保育」の充実を目指す。 ・保護者にとっても「心に残る保育所」となれるよう、保育スタッフ自らも楽しみながら保育を行う。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	平 日 午前7時 ~ 午後7時 土曜日 午前7時 ~ 午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	9	1		3
1歳児	10	11	1		3
2歳児	11	11	1		2
3歳児	11	11	1		1
4歳児	11	10	1		1
5歳児	11	11	1		1
計	60	63	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		12人	
うち	保育士	11人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	1人	その他() 人
非常勤職員数		10人 (常勤換算 人)	
うち	保育士	7人 (常勤換算	人)
	保健師・看護師	人 (常勤換算	人)
	栄養士・調理員	2人 (常勤換算	人)
	その他()	1人 (常勤換算	人)
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3人	非常勤： 2人
	退職	常勤： 1人	非常勤： 人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		30歳 (30歳)	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		2.9年 (2.9年)	
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	—
延長保育	有	¥3500/月 ¥500/回
休日保育	無	
障害児保育	有(今年度該当児なし)	—
一時保育	無	
地域子育て支援センター	無	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	無	
アレルギー等対応給食	有	—
その他(事業名:)	無	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 29 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

9 人

・ボランティアの業務

- ・環境についてのパネルシアター、製作
- ・歯科講習会
- ・庭に手入れ

【実習生の受け入れ】

・平成 29 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他
【保育士等】 2 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	295.97 m ²
	児童1人あたり 4.9 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	2,522 m ²
	児童1人あたり 42 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成 22年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・運営委員会を実施し、利用者の意見を直接聞く場を設けている。(4月・9月・3月に実施)欠席の保護者には、後日運営委員会の内容を報告している。
- ・行事後は必ずアンケートを取り、意見を反映するよう努めている。また、アンケート結果は掲示やおたよりで配布している。
- ・クラス懇談会を開催し、担任と保護者がより近い距離で話をする場を設けている。また、保護者同士の交流の場にもなっている。
- ・保育園以外に意見や苦情の受付窓口を本部に設置し、利用者に周知している。
- ・行事時には、保護者と一緒に準備のお手伝いをしてもらいながら信頼関係を築いている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

(①大切にしている保育・教育の考え方や手法 ②当園または当法人ならではの保育の特色として着目してほしい活動・行事など ③その他評価実施にあたり、評価機関に知ってほしいことを、自由にご記入ください)

- ・園庭スペースを利用して畑やプランターで食物の栽培を行い、食育活動に力を入れている。
- ・園外保育や、他園児童との交流を積極的に取り入れている。
- ・異年齢保育を取り入れ、異年齢のグループを作ってゲームや製作活動を行い、憧れ・好奇心・思いやりの気持ちを育む保育を展開している。
- ・地域交流計画に基づき、付近の大学や高齢者施設との交流、地域の歯科衛生士やボランティア団体を招いた活動、近隣の商業施設での行事の開催など、積極的に地域交流に取り組んでいる。
- ・保護者が協力的であり、行事や運営委員会への参加率も高い。
- ・地域子育て支援の場として講習会や園内解放などを積極的に行っている。
- ・お迎えの時間に親子で制作活動ができる企画をし、保護者支援につながる取り組みを行っている。
- ・保育参加を取り入れ、行事や通常保育に保護者が密に関わり、保育への理解を深めていただく機会をつくっている。
- ・職員の協力関係が良好で、保育内容の改善や課題解決に対し全員で意見を出し合い、協力して取り組む姿勢が見られる。
- ・職員の要望を管理者(園長・主任)に伝えられやすい環境が作られている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

7 回 (平成 28 年度)